

第6回 日タイ観光WG 日本側閉会挨拶

- 本ワーキンググループの共同議長を務めております、
運輸総合研究所専務理事でアセアン・インド地域事務所
(AIRO) 所長の奥田でございます。
閉会にあたりまして、ご挨拶申し上げます。
- 2023年12月に第1回のワーキンググループを開催して以来
第6回目となります今回は、タイ王国・観光スポーツ省の
ナタリヤー次官をはじめタイ側の皆様を日本にお招きして開
催することができました。
開催の準備を進めていただいた皆様、また、お忙しいなか
本日ご出席をいただいた皆様、誠にありがとうございました。
- また、今回のワーキンググループは、開催に先立ち、
ナタリヤー次官をはじめタイ側の皆様と共に、
和歌山県・熊野地域での現地調査を実施いたしましたが、
その際に、多大なるご協力を賜りました
田辺市熊野ツーリズム・ビューローをはじめ、関係自治体、
関係機関、地域の皆様に、日タイの調査チームより感謝申し
上げたいと思います。
- 今回の和歌山県・熊野地域での現地調査を通じ、
本日のテーマでありますDMOの活動が、現場でどのように
実践されているか、また、その実現に向けてどのような調整

や工夫が行われているかについて、具体的な取組、気づきが共有されたことは、本ワーキンググループならではの成果であったと感じております。

- 本日のワーキンググループでは、現地調査の成果も踏まえ、「日タイ両国における持続可能な観光の実現」という、本ワーキンググループの基本テーマに関し、「DMO の使命と役割」という観点から議論をいたしました
が、
- その議論に先立ち、元観光庁長官でもあります、私どもの和田理事長からの論点整理がなされました。
- DMO をめぐって、
 - ・ いかにして模範となる成功事例を作り出すか、
 - ・ またその際、国や自治体、民間などの関係者がどのように関与していくのかといった点について問題意識の共有がなされたと思います。
- 本日のワーキンググループにおいては、日タイ双方の皆様より、現地調査やこれまでの経験、さらには、これまでのワーキンググループの議論の成果を踏まえた有益な発表、議論をいただき、
地域の自然・文化・暮らしを踏まえ、『どのような地域の姿を目指すのか』という実現すべき価値を明確にし、地域内の合

意形成を図り、観光の効果を、地域産業の持続性や暮らしの質の向上といった課題解決にどう結びつけていくのか、その際、DMOはどのような役割を果たすべきなのか、という点につきまして、理解が深まったように思います。

- 今回も大変有意義なワーキンググループになりましたことを、改めて感謝申し上げます。
- 本日いただきました皆様からの大変有益なご意見につきましては、当研究所より関係者の皆様へ確実にフィードバックさせていただく所存です。
- 本ワーキンググループは、日タイ両国における「持続可能な観光の実現」に向け、関係者がその問題意識に基づく議論の成果を共有し、それを現場にフィードバックして実践し、さらに解決すべき問題点を持ち寄るための「対話の場」であると考えております。
- さらには、ここでの成果を、日タイ両国以外の、例えばASEAN諸国において課題を共有する諸国に、課題解決へのヒントを提供する場でもあると考えております。
- 本日の議論が、日タイ両国の全ての関係者における今後の取組や、次回以降の日タイ観光ワーキンググループにおける議論につながりますよう、当研究所としましても引き続き取り

組んで参ります。

- 今後も、本ワーキンググループを開催して参りたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。
- 本日は誠にありがとうございました。